

3章

質問 4-12

神を知る知識

質問 4. 神は どのような方ですか。

答え I 神は 霊であられ、無限であり、永遠であり、不変であり、存在しておられ、その方の存在の中に 知恵と 力と 聖と 公義と 善のうち真理があります。

1. 神の 属性には 何がありますか。

神は絶対的に制限されない方で、無限であり、存在にあって完全であります (ヨブ 11:7-9)。神は永遠の方ですが、始まりと終わりがなく、いつも存在するお方です (詩 90:2)。神は普遍性を持っておられます。神は約束の成就にあって真実であり (ミカ 7:20) 始められたことを終えるまで真実な方です (ピリピ 1:6)。神は栄光のうち超越的な存在であるから、神ご自身以外、だれも神を完全に知ることができません。神は完全な知識を持っていて、すべての被造物に対する知識を持っておられます (詩 139:2, マタイ 10:29-30)。神の御力はすべての被造物を捕らえ、維持させることで現われます (マタイ 16:18)。神の聖さ

は、神の存在にあって必須的なものとして、人間は新生の恵みによってこれに
あずかることができます（Ⅱペテロ 1:4）。神の義は、不義と罪に対して審判な
さるのです（エゼキエル 18:4）。神の善は、特別に選んだ罪人たちに、救いの
恵みを施すことから現われます（黙 5:9）。神の真実さは、約束を最後まで移行
なさるところから知ることができます。

質問 5 神は ひとりのほか また異なる神々がありますか。

答え I ただひとり 生けるまことの神です。

1. ただ神が ひとりというのは 何を意味しますか。

神は、わたしと同じようなものは「ほかにはいない」と語っています（イザ
ヤ 45:22）。モーセは、ただ神は、ひとりであると告げました（申 6:4）。神が
ひとりというのは、すべてのことの第一原因が神であり、すべてのことの最終
目的が、神にあるとの意味です。神がひとりというのは、神が部分的に天にお
られ、またほかでは地におられるという考えをすることはならず、神は完全にすべ
てのところに満ちておられるとのことです（エレミヤ 23:24）。それゆえ、霊と
まことを持って神に礼拝すべきです。

2. 神を 生ける神であると 語る理由は なぜですか。

神は、本質的に、ご自身のうちに命を持っておられるからです（ヨハネ 5:26）。
従って神は、生きているどの被造物にも命を与えるお方であり、命の著者です

(使徒 17:28)。ただし、偶像は、しゃべることもできず、死んでいるものに過ぎません(詩 115:4-7)。従って、死んでいる偶像に崇拝するのは罪であり、偶像に仕える者を貪欲に満ちている者と言えませんが、その心は、神の代わりに世のことでいっぱいになっているからです(エペソ 5:4)。

3. 神を まことの神と 呼んでいる理由は なぜですか。

すべての偽りの神々と偶像に対する反対概念によって、まことの神と呼ぶのです(エレミヤ 10:10-11)。生きておられることと、まことの性質は、ただ神がひとりということと、不可分の関係を持っています(Iテサロニケ 1:9)。未信者たちは、ただ自分のために偶像を拝みます(エレミヤ 10:5)。しかし、神の民は、まことの神に、自分を聖なる生きた供えものとして捧げるようになっています(ロマ 12:1)。

質問 6. 神の神性の中に いくつの位格がありますか。

答え I 神の神性の中に 三位としておられます。父、子、聖霊です。三つの位格は ひとりの神です。本体はひとつであり 力と栄光において同一です。

1. 三位一体・教理が 私たちの救いにあって 意味するのは 何ですか。

各々区別される三位が、ひとつの神的本質の中にいることを意味します(Iヨハネ 5:7)。これは、私たちの考えと理性によって理解することのできない超越的な神秘です(コロサイ 2:2 ; ヨブ 11:6-7)。神が聖書においてご自分を啓示なさっているように、神性の統一性の中に三位としておられます(マタイ 3:16-

17、28:19,Ⅱコリント 13:13)。分けられること(分割)のできない、ひとつの神的本質の中に三位として区別されるのです。神的本質は三位、各々該当されることで、三位として区別されるのは、なされる働きによってのことです。三位一体・教理は、私たちの救いを理解するのに必須的です。贖いの働きにおいて、父はあらかじめ定められ(ordaining)、子は贖いを成就させ(purchasing)、聖霊はその贖いを適用(applying)させます(Ⅰペテロ 1:2)。

2. 三位は私たちの礼拝においてどのような礼拝になるのですか。

三つの位格の特性は区別され、各、位格の間に優先順位があるのではありません。各、位格は神であります。父なる神を「神」と呼びますし(Ⅰコリント 8:6、15:24,ガラテヤ 1:1、3)、キリストを「神」と言及しています(ヨハネ 1:1,テトス 2:13,イザヤ 9:6)。聖霊もやはり「神」ですが、その属性と、なされるお働きが神であることを証しています(使徒 5:3-4,ヘブル 9:14,Ⅰコリント 2:10,ルカ 1:35,Ⅱペテロ 1:21)。神性の中で、三位は区別されるだけで、分けられることはできません。三位一体・教理は、私たちが神を礼拝する時、キリストにあって、聖霊によって、父を礼拝することであり、私たちが祈る時も、キリストにあって、聖霊によって、父に求めるのです(エペソ 2:18、5:20)。

質問 7. 神の聖定とは 何ですか。

答え I 神の聖定とは 神のご意思の計らいによる 永遠の目的です。それによって ご自身の栄光のために起こってくるすべてを、あらかじめ定めておられました。

1. 神の聖定の属性は 何ですか。

選びの聖定と、福音伝道の聖定は、永遠のものとしてエペソ人の手紙ではっきり語っています（エペソ 1:4）。従って神によるほかの聖定も、永遠なのです（使徒 15:18）。神の聖定とは、ことごとく秩序よく実行されます（マルコ 7:37）。神の聖定とは、絶対的なこととしてどんな条件にも依存されず、ただ神の主権と、御心にかかっています（エペソ 1:11）。神の聖定は普遍です。聖書はそれを証ししています（ヨブ 23:13, イザヤ 46:10）。神は、知恵と力と真実さにおいて、傷のない方だからです。

2. 神のすべての聖定の目的は 何ですか。

神ご自身の栄光のためにです（箴言 16:4）。天使と人は、神の聖定の特別な対象となります。神は、人々の中で特定な者たちをキリストにあって選び、永遠の命を与えようと定めましたが（Ⅱテモテ 2:19, ヨハネ 13:18）、それは完全に、その方の栄光に満ちている恵みを賛美させるためにです（Ⅱテサロニケ 2:13-14）。神は、彼らが信じることと、善行を行うことを先々に知っていて選んだのではなく、ただ神の、値なしにくださる恵みによることです（エペソ 1:6, 12）。ある者たちには、罪を犯す状態のままに放って置かれますが、彼らの罪に対する審判によって、神の公義を現すためにです（ロマ 9:17-18, 22, I ペテロ 2:8）。

3. 神の選びと 遺棄教理は 伝道は無意味にさせ

人間の責任を 無視させるのでしょうか。

神の選ばれた民なら救われるでしょうし、選ばれていない民ならば救われないのだからと考えて、人間が伝道をしないうら、まるで自分が、神の聖定を全部知っているかのような態度、不敬度な態度です。一方で、神の聖定教理を運命論的に理解するのも聖書的な態度ではありません。神の選びを、知っている

と言っても、人間はとても制限的です。ただ選びの効果である聖化が現れた時に、その人は選ばれた者として確認するだけです（エペソ 1:4-5）。また、墮落の効果が見られた時だけ、その人は捨てられたことと知るようになります（ヘブル 6:4-6）。従って信者は、キリストが命じられたように、全地を回りながら福音を伝えなければなりません（マタイ 28:18-20）。

質問 8. 神は ご自身の聖定を どのように実行されていますか。

答え I 神は ご自身の聖定を 創造と摂理の御業によって 実行されています。

1. 神は ご自身の聖定を どのように実行されていますか。

神は、永遠の前から目的なされたことを成し遂げるのに、神の時に実行なさるので（イザヤ 46:10）。神は、聖定なされたことを失敗なしに必ず成し遂げます（ロマ 9:19）。神は、あらゆる道具を用いながら、ご自身の喜ばれるままに、その御心を成し遂げます（使徒 4:27-28）。神の聖定は、神の能力が無限であるから、必ず実現するようになっています（Ⅱペテロ 1:3）。

質問 9. 創造の御業とは 何ですか。

答え I 創造の御業とは 神が何もないところから 力あるお言葉によって 六日間で 極めてよく造られたことです。

1. 神は 何を持って 万物を創造しましたか。

神の言葉によってすべてを造られました（詩 33:6）。創造以前に、先在していたものを持って造ったのではなく、何もない無から造られました。従って、すべての始まりが神にあって、すべての存在が神によってあります（ネヘミヤ 9:6）。神が最初に、このすべてを造ったので、時間もやはり被造物です（創 1:1）。その上、神がこのすべてを六日間で造りましたが、この「日」という概念は、モーセが神から受けた十戒においても確認できます（出 20:11）。

2. 神が 万物を造られた 目的は 何ですか。

神ご自身の栄光を現すためです。神はすべての万物を造りながら、ご自身の無限なる力と知恵と善であることを現しました。創造における神は、どの者とも比較できないほどの卓越さを現しました（箴言 16:4）。神の創造の完全さは、神の力と知恵を現しています（ロマ 1:20）。神が万物を造られたことの中にある、多様性と調和と秩序は、神の知恵を現します（詩 104:24）。

3. 創造にあって 神の善は どのような意味を 持っていますか。

神は、すべての万物をお造りになった後、ご覧になり、それは非常に良かったと表現なさっています（創 1:31）。それは、神の完全さを現す反面、一方では、人々の有益のためでした。どんな被造物でも、人に害を与えるようなものはありませんでした。人が犯罪を犯した以降、地が呪いを受け（創 3:17）、人の罪は拡散され（ロマ 5:12）、人の罪によって、被造物が人に苦痛を与えるようになったのです（ロマ 8:22）。

4. 神が 第七日に 安息なさった 理由は何ですか。

神が労働をしたので、疲れて休まれたわけではありません。神は、永遠の神として疲れることなく、たゆむことなどありません（イザヤ 40:28）。第七日に安

息なされたというのは、創造において不足の無い程、完成されたことを意味します（創 2:2-3）。そして神が直接、安息なされるのを人々に見させ、人々がその日は労働を休み、神を礼拝する日と定めたのです。従って人々は、すべての創造から神をあがめなくてはならず（詩 19:1）、主権者である神を認めなければなりません（I 歴代 29:11）。

質問 10. 神は人間を どのように 創造されましたか。

答え I 神は人間を 男と女とに造られ ご自身の形に従い造られたので、知識と義と聖がありました。そして 被造物を支配するようにされました。

1. 人の創造と ほかの被造物の創造には どんな違いがありますか。

神は、人の幸せと福祉のために、すべてを造られた後、人を造り、それらを味わうようにされました（詩 8:6-8）。人は、造られた方法から、ほかの被造物とは区別されます。人とは別に、すべての被造物は神の命令によって造られますが、人は、神の形に従って造られました（創 1:26、28）。神は人を造られる時、体と霊魂とに構成させました。人が、体と霊魂ある存在として造られたことは、動物と区別されます。

2. 人の体と霊魂は どのように 造られましたか。

人の体はチリで造られますが、神がまるで、陶器師のように人を造りました

(イザヤ 64:8、45:9)。女は男のあばら骨を取り造られました(創 2:21-22)。これは、私たちがただ、チリに過ぎないことを記憶させ(伝道書 3:20)。一方では、私たちの生命が神の御手にかかっていることを教えてくれます(エレミヤ 18:6)。霊魂は、神が命の息を鼻に吹き込むことで造られました(創 2:7)。それゆえ、神がすべての霊魂の主となられ(マタイ 27:16)、神は絶対的に霊魂たちを支配し、治めます。神ご自身の望むままに霊魂を召し、霊魂は帰るようになっています(伝道書 12:7)。体は身体を持っていますが、霊魂は非物質的存在です。人が、霊魂を持っているというのは、理性的存在であることを語っています。

3. 神が人を 神の形に造られた 理由は 何ですか。

人の霊魂には、神の形が刻まれています(ヤコブ 3:9)。霊魂は霊的であり、死ぬことがなく、理解力を持っていて、意志を持っています。霊魂の中に神の形が刻まれているということは、知識と義と聖を持っているということです(コロサイ 3:10,エペソ 4:14)。人は、神について完璧な知識を持っていました。内在されている義と聖を持っていたので、神の戒めを遂行することができました。墮落以前の人の状態は、非常に聖く幸せな状態でした。神の御心を完全に理解していて、神の御心に、喜びながら従順することができ、その心は、神に対する愛で満ちた状態でした。

質問 11. 神の摂理の御業とは 何ですか。

答え I 神の摂理の御業は その方のすぐれた聖と知恵と力によって、その方のすべての被造物と 彼らのすべての行動を保たせ、治めるということです。

1. 神の摂理とは 何ですか。

神が、人とすべての被造物を保たせておられることを意味します（詩 34:6）。この地に、多様な被造物が数多くありますが、時代を継がせながら調和を成し、秩序があるのは、神がそれらを治め、保たせておられるからです（使徒 17:25）。神は一番小さなものと、みすぼらしいことから、大きなことまでも治めています。ましてや、私たちの頭の髪の毛の数までも知っておられ、天の星々の数までも知っておられます（マタイ 10:30, 詩 147:4）。神の摂理は、神の無限なる知恵の中で実行されています（ネヘミヤ 9:6）。

2. 神の摂理の対象の範囲は 何ですか。

神の摂理の対象の範囲は、すべての被造物の行動までも含まれます。私たちに偶然なことに見えたとしても、神の定められたことがあります（箴言 16:33）。自発的行為だと言っても神の摂理がその中にあります（箴言 19:21）。神は人々の意志に影響を与え、性向を起こさせて、そのことを行うようになさいます（ピリピ 2:13）。時に神は、罪となる行為までも許可なさりながら、ご自身の聖なる目的を成し遂げます（使徒 14:16）。例えば、神は、祭司長たちによって、キリストを十字架に釘付けすることを許可しながら、贖いの目的を成し遂げました（使徒 2:13）。

3. 神の摂理の 属性とは 何ですか。

神の摂理は、何より聖く、知恵、力があります。神の治めの中でこの三つは確かに現れます（詩 145:17）。神は、一番ひどい罪人さえも、聖徒として造ることがお出来になります（I テモテ 1:12-13）。一方で、悪人に審判を行なわれます（詩 9:16）。神の摂理が何より知恵であるのは、すべてを働かせて益とさせるからです（ロマ 8:28）。また、神の摂理が力あるのは、抵抗することができないからです（ダニエル 4:23）。神の摂理は、手段が微弱に見えたとしても、

偉大な事件を造り出すので、愚かに見える伝道によって、人を救う御業をなさるのも、それです（I コリント 1:21）。

4. 神の摂理の種類は いくつありますか。

通常的な摂理と、非常な摂理、そして一般摂理と、特別摂理があります。通常的な摂理とは、神が初めから定められた通りに、秩序の中で起こることを語ります（ホセア 2:21-22）。非常な摂理とは、自然的秩序を飛び越えて起きる奇跡のような事です。紅海を乾いた陸地のように渡らせた事や、言葉一つで病気を直すのが、ここに該当されます。一般摂理とは、すべての被造物に対して、一般的に起こることですが、それは、神が自然を治めておられるからです（使徒 17:28）。特別摂理とは、理性的な被造物に対して施行なさることとして「神の道徳的統治」とも呼ばれます（申 30:16-18）。特別摂理は、神が、ご自身の教会を治められ、お世話をなさることを含めています（II 歴代 16:9）。

5. 神の摂理を どのように注目すれば 良いのでしょうか。

謙遜と敬う心と感謝しながら、私たちに起こる出来事を見なければなりません。私たちの感覚は弱いからです（ロマ 11:34）。その中には、神の慈悲と審判が混ざっているからです（詩 101:1）。一方で、神の摂理を看過するのは危険なことです（詩 28:5）。神の摂理は、外的に神秘的です。ヨセフが監獄に閉じ込められたことや、ダニエルが獅子の穴に投げ落とされた事件などは、より高い道に進んで行けることなのです。一方で、悪人が栄える反面、敬虔な者たちが苦難を受ける姿を見る時に（エレミヤ 12:1）試みに合わないようにはすべきです。悪人たちの結局は、避けられない神の審判だからです（ルカ 16:19-27）。神の摂理を信じる私たちは、神を信頼しなければなりません（詩 38:5）。

6. 神が人を統治するために、与えたのは 何ですか。

神は、人を理性的な存在として造り、ほかの被造物と区別するように、道徳法を与えました（ヨブ 35:10 - 11）。道徳法とは、神と人に対する、正しい行為を語ります（ロマ 7:12）。これは、神がご自身の形に人を造られた時、心に刻んで置きました（創 1:27）。道徳法は、神に対する従順の原理を含んでいて、神の権威に屈服し、心を尽くし、神を愛することを要求しています（伝道書 7:29）。

質問 12. 神が人間を造られた状態で 人に対して行われた 摂理による特別な行為は 何ですか。

答え I 神は人を創造された時 完全な従順を条件として 人と命の契約を結びました。善悪を知るようにする木の実を食べることを、死の苦しみとして禁じました。

1. 神がアダムと結ばれた 契約は 何ですか。

神がアダムと結ばれた契約を「行い契約」と呼びます。行い契約と呼ぶ理由は、条件があるからです。神は無罪状態のアダムと契約を結びました（創 2:16-17）。行い契約が要求するのは、神の戒めに対する完全な従順でした。神はアダムに、善悪を知るようにさせる木の実を食べてはならないと命じました。アダムは神の戒めに従順すべきでした。神の命令には、神の主権的な御心が含まれています。神は、不従順した場合、死ぬようになるかと仰せられました。しかし、従順する場合には、命が継続されます。アダムが自分の行いによって命を得なさい

というわけではありません。アダムが従順したとしても、神の約束と恵みによって命を得るのです。行い契約は、神の主権を認め、神の栄光のために、従順するのかが見られるのです。

2. アダムとエバが 無罪状態で 味わったのは 何でしたか。

創造主・神の支配の中にいながら幸せを味わいました。彼らは神と親密な交際を持ちながら、神が命じられた通り、すべての被造物を支配することができました。アダムは、行い契約が意味することも知っていました。神が従順を求めておられることも知っていました。アダムは、神の善であることを悟っていたので、人類の有益のために与えられたことも認めていました。勿論、善悪の実を食べるのが、神の怒りを起すことも知っていました。更に、従順を続ける限り、命の木の実を食べながら永遠に命を得られることも知っていました。

3. アダムが 行い契約を 破った結果は 何ですか。

神はアダムに、契約を破った場合、死ぬようになると仰せられました。アダムは神に従順しませんでした。そして自分は、悪に陥ってしまったことも知り、罪によって悲惨な状態に陥っているのを悟りました。罪によって自分が受けるべき刑罰が死であることも知っていました（ロマ 6:23）。このようにアダムの罪によって、死と永罰が人類に入って来たのです。罪によって人は、神と不和の関係になりました。それゆえ、神と和解できる手段が必要となり、永遠の命を得られる方法が必要となりました。それは直ちに、第二のアダムである、キリストです（ロマ 5:19）。

神は 絶対的に 制限を受けられず、
無限、存在にあつて、完全であられる。
神は 永遠のお方、
初めと 終わりがなく、常に 存在する お方です。
神は 普遍性を 持つておられ
神は 約束の成就において 真実であり、
始められたことを 終わるまで 真実であられます。
神の栄光は 超越的な 存在として
神 ご自身以外
だれも 神を 完全に知ることは ない。